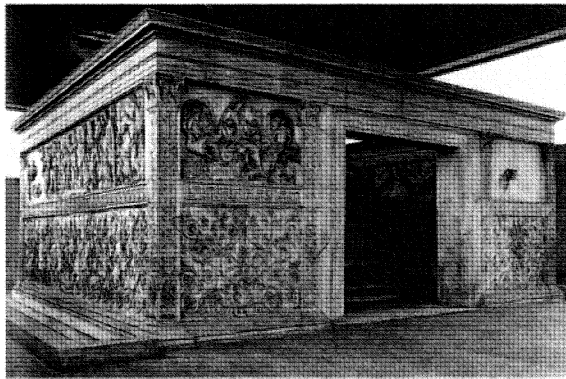


# 世界史 B

(解答番号  ~ )

**第1問** 世界史上の帝国や王朝の支配について述べた次の文章 A～C を読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(配点 25)

A 共和政末期、古代ローマは未曾有の内戦を経験した。その後に成立した新体制の下で、その①支配の正統性を主張するために重視されたのが「平和」であった。首都ローマでは、戦争の終結時に閉じられるとされたヤヌス神殿の扉が数百年ぶりに閉じられたほか、さらに「平和の祭壇(アラ=パキス)」が建設され(下図参照)、視覚的にも「平和」の到来がアピールされたのである。帝政の開始以来およそ200年におよぶ繁栄の時代は②「ローマの平和」と呼ばれ、③ローマ帝国の安定した支配の下、帝国各地で数多くの都市が栄えた。しかし、3世紀になると、ササン朝ペルシアやゲルマン人の侵入が度重なり、「平和」は再び失われていくことになる。



「平和の祭壇(アラ=パキス)」

問 1 下線部①に関連して、支配の仕組みについて述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ビザンツ帝国で、領邦教会制が成立した。
- ② 金で、猛安・謀克という制度が用いられた。
- ③ ティムール朝で、マンサブダール制が整えられた。
- ④ 高麗で、骨品制がとられた。

問 2 下線部②の時期に起こった出来事について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ペテロやパウロによって、キリスト教が広められた。
- ② 『ローマ法大全』が編纂された。
- ③ ローマ帝国とインドとの間で、モンスーン(季節風)を利用した交易が行われた。
- ④ トラヤヌス帝の下で、ローマ帝国の版図が最大となった。

問 3 下線部③に関連して、ローマ帝国の支配下にあった諸都市のその後の歴史について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① フィレンツェは、綿織物工業で栄え、ルネサンスの中心となった。
- ② アドリアノーブルは、ガズナ朝によって征服された。
- ③ リスボンは、インド航路の開拓により、香辛料貿易で繁栄した。
- ④ イェルサレムは、第4回十字軍によって占領された。

## 世界史B

B ④ ブリトン人の英雄伝説を起源とする『アーサー王物語』は、12世紀前半に成文化されると、ヨーロッパ中に広まった。これを政治的に利用したのが、⑤ イングランド王ヘンリ2世である。彼の治世には、ラテン語からの翻訳をはじめとするアーサー王関連作品が書かれた。それらの中に描かれた、ブリテン島のみならず北欧やガリアまでを支配したアーサー王の姿は、相続や婚姻を通じて⑥ 広大な領土を治めることになったヘンリ2世にとって、王権の権威付けのために望ましいものであった。さらに聖杯伝説や宮廷風恋愛などの要素も加えられた『アーサー王物語』は、その後、広く愛好されることになる。

問 4 下線部④に関連して、英雄伝説や叙事詩について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 『ラーマーヤナ』は、ペルシアで成立した。
- ② 『イリアス』(『イーリアス』)は、アラブ文学の作品である。
- ③ 『ローランの歌』は、カール大帝の時代を題材としている。
- ④ 『ギルガメシュ叙事詩』(『ギルガメシュ物語』)は、古代エジプトで成立した。

問 5 下線部⑤の人物について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アングロ＝サクソン七王国を統一した。
- ② プランタジネット朝を開いた。
- ③ 大憲章(マグナ＝カルタ)を認めた。
- ④ シモン＝ド＝モンフォールによる反乱を招いた。

問 6 下線部⑥に関連して、帝国について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 

6
---

- ① インカ帝国で、記録・伝達手段として、キープ(結縄)が用いられた。
- ② 清で、満州人(満洲人)からなる緑營が編制された。
- ③ オスマン帝国で、アブデュル=ハミト2世が、ギュルハネ勅令を出した。
- ④ ロシア帝国で、アレクサンドル1世が、十月宣言(十月勅書)を出した。

## 世界史B

C 中国では、⑦歴代様々な王朝が興亡を繰り返してきた。こうした王朝の興亡史を記す⑧中国の歴史叙述では、王朝交替に疑義があったり、同時に複数の王朝が並び立った場合に、いずれの王朝の支配を正統とするかという正統論が問題となった。宋代になると、正統論はとくに盛んとなる。南宋で編纂された『資治通鑑綱目』という⑨歴史書は、例えば三国時代は蜀を正統とするなど、歴代王朝の正統・非正統の区別を明確にした。これは、華北を失った南宋の正統性を強調しようとするものだった。この正統史観は、その後、日本を含め東アジアに大きな影響を及ぼすことになる。

問 7 下線部⑦に関連して、アジアにおける王朝や民族の興亡について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ホスロー1世が、大月氏を滅ぼした。
- ② 冒頓単于の下、柔然が全盛期を迎えた。
- ③ ヴァルダナ朝が、南インドを統一した。
- ④ ヒヴァ=ハン国が、ロシアの保護国となった。

問 8 下線部⑧について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 宋と大モンゴル国(モンゴル帝国)との間で、澶淵の盟が結ばれた。
- ② 唐代の両税法で、土地を支給された成人男性に税が課された。
- ③ 春秋時代の有力諸侯は、覇者と呼ばれた。
- ④ 長江下流域が、明代に「湖広熟すれば天下足る」と称された。

問 9 下線部⑨について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、  
下の①～④のうちから一つ選べ。 

9
---

a 班固が、編年体で、『漢書』を著した。

b ラシード=アッディーン(ラシード=ウッディーン)が、イル=ハン国で、『集史』を著した。

① a — 正      b — 正

② a — 正      b — 誤

③ a — 誤      b — 正

④ a — 誤      b — 誤

## 世界史B

**第2問** 宗教や宗教集団について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(配点 25)

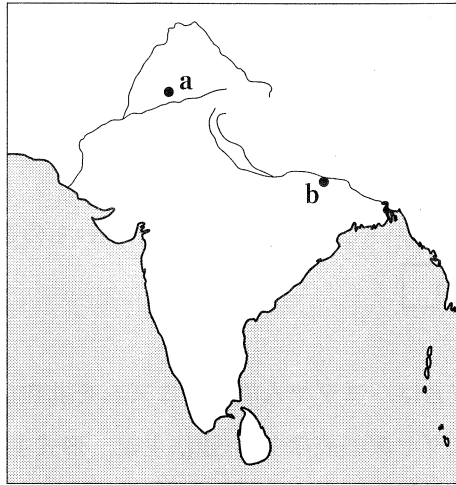
A ① シク教は、西北インドの農村地域を中心に広がった。その教団はムガル帝国との対立を通して武装化し、18世紀には、ミスルと呼ばれる複数の共同体が形成された。19世紀初頭に、ランジート=シングがそれらのミスルを統合して、ラホールを② 首都とするシク王国を築いた。彼は、シク教徒だけではなくムスリムやヒンドゥー教徒を重用し、さらにヨーロッパ人③ 将校を雇い入れて近代的な軍隊を整備して、周辺地域を次々と征服した。シク王国は、シク教徒の組織に支えられながら、多様な人々を取り込み、一大政治勢力となったのである。

問1 下線部①について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 

10
----

- ① ナーナクによって創始された。
- ② シヴァ神を主神とする。
- ③ ヒジュラ(聖遷)の年を紀元とする暦を用いる。
- ④ 中国で景教と呼ばれた。

- 問 2 下線部②に関連して、インド最初の統一王朝であるマウリヤ朝の都の名と、その位置を示す次の地図中の a または b との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 11



- ① ハラッパー — a
- ② ハラッパー — b
- ③ パータリプトラー — a
- ④ パータリプトラー — b

- 問 3 下線部③に関連して、軍の指揮官について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- ① ハンニバルは、イツソスの戦いで敗れた。
- ② 司馬炎は、蜀を建てた。
- ③ ゴードンは、常勝軍を率いた。
- ④ 劉永福は、鉄騎隊を組織した。



## 世界史B

B 16世紀のヴェネツィアには多くの④ユダヤ教徒(ユダヤ人)が移り住み、彼らとキリスト教徒である一般市民との間に様々な問題が生じるようになった。そのため、1516年に、市内にユダヤ人居住区(ゲットー)が定められ、すべてのユダヤ人はそこに居住させられた。彼らは当局の厳しい監視の下に置かれたが、同時に安全を保証され、⑤商業や金融業などに従事した。ユダヤ人高利貸しシャイロックが登場する⑥ウィリアム・シェークスピア(1564～1616年)の『ヴェネスの商人』には、こうした当時の社会状況が反映されている。

問4 下線部④の歴史について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 

13
----

- ① バルフォア宣言は、ユダヤ人のシオニズムを批判した。
- ② モーセは、ユダヤ教の戒律主義(律法主義、形式主義)を批判した。
- ③ ユダヤ教徒は、唯一の神アフラ＝マズダを信仰している。
- ④ ドレフュス事件は、ユダヤ系軍人に対する冤罪事件である。

問5 下線部⑤について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 

14
----

- ① 乾隆帝は、ヨーロッパ船の来航を泉州に限定した。
- ② イスラーム世界で、隊商宿(キャラヴァンサライ、キャラバンサライ)が整備された。
- ③ シャンパーニュ地方は、中世に定期市で栄えた。
- ④ 琉球は、明との間で朝貢貿易を行った。

問 6 下線部⑥の人物が生きた時期に起こった出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① ラダイト運動(機械うちこわし運動)が起こった。
- ② スチュアート朝が成立した。
- ③ ウォルポールが首相になった。
- ④ グラッドストーンが、アイルランド自治法案を提出した。

## 世界史B

- C アラビア半島では、18世紀に⑦イスラームの改革を唱える運動が起こった。神秘主義や聖者崇拜を墮落したものとみなして「預言者の教えに戻れ」と主張する **ア** 派は、同半島の中央部に拠点を持つ **イ** 家と同盟を組んで王国を建国した。イスラームの改革運動は他の地域にも広がり、19世紀になると、反植民地運動に組み込まれるケースも見られた。イギリスによって⑧占領されたエジプトやスーダンでもムスリムの抵抗運動が起こり、これらの地域での滞在経験を持つイギリス人作家 W. S. ブラントは、『英国エジプト占領秘史』などを著して、抵抗運動を起こしたムスリム諸集団に同情を寄せた。

- 問 7 文章中の空欄 **ア** と **イ** に入れる語の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **16**

- ① アーワッハーブ      イーハーシム
- ② アーワッハーブ      イーサウード
- ③ アー十二イマーム      イーハーシム
- ④ アー十二イマーム      イーサウード

- 問 8 下線部⑦に関連して、宗教に関わる出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **17**

- ① エフェソス公会議で、ウィクリフが異端とされた。
- ② バングラデシュで、イスラーム同盟(サレカット=イスラーム)が、独立運動を展開した。
- ③ 隋で、白蓮教徒の乱が起こった。
- ④ カージャール朝で、バーブ教徒が蜂起した。

問 9 下線部⑧について述べた次の文 **a** と **b** の正誤の組合せとして正しいものを、  
下の①～④のうちから一つ選べ。 18

**a** フランスは、ドイツの賠償金支払い不履行を理由に、ルール占領を強行した。

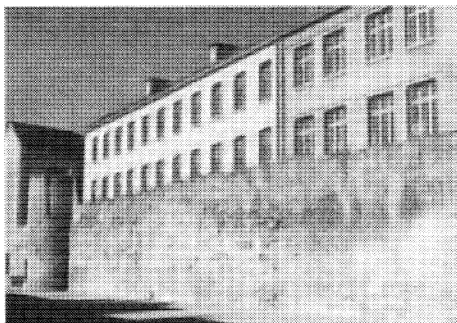
**b** アメリカ合衆国は、北緯 38 度線を境として、朝鮮半島の北半部を占領下に置いた。

- ① a — 正      b — 正
- ② a — 正      b — 誤
- ③ a — 誤      b — 正
- ④ a — 誤      b — 誤

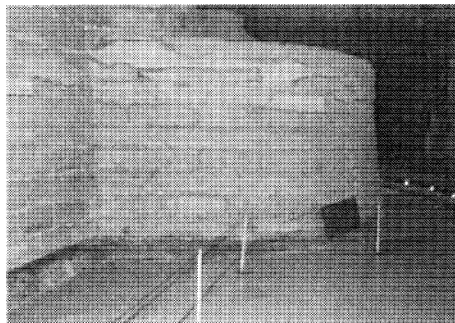
## 世界史B

**第3問** 世界史上の都市とその建造物について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(配点 25)

A パリには、①中世の遺跡が数多く残されている。例えば、12世紀末から13世紀初頭に築かれた石造の市壁は、中世以来の幾度もパリの拡大・改造を乗り越えて、その一部が市の中心部に現存している(下図左参照)。この市壁建設時には、市壁西側と②セーヌ川が接する地点を防衛するためにルーヴル城が築かれた。19世紀後半、当時の③皇帝の号令のもと、その基礎部分がルーヴル宮の中庭から発掘された。中世のルーヴル城の遺跡は、今日、ルーヴル美術館の観覧コースに組み込まれている(下図右参照)。



パリの市壁跡



ルーヴル城跡

問1 下線部①に関連して、歴史的建造物について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 

19
----

- ① 慶州の仏国寺は、新羅で創建された。
- ② ポタラ宮は、ジャイナ教の中心(大本山)である。
- ③ クトゥブ=ミナール(クトゥブ=ミナレット)は、ウルグ=ベクによって建造された。
- ④ ピサ大聖堂の斜塔で、パスカルによる物体落下の実験(重力実験)が行われた。

問 2 下線部②に関連して、ヨーロッパの河川について述べた次の文中の空欄

と  に入れる語の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

の地には、12世紀から14世紀にかけてドイツ人による大規模な植民が行われ、その結果、 などが創設された。

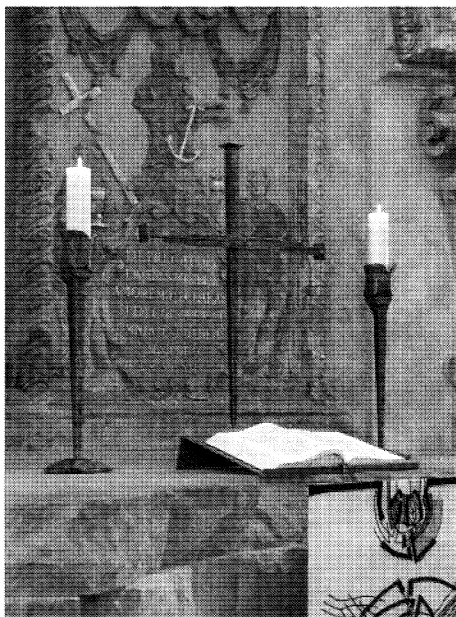
- ① アーエルベ川以東    イーブランデンブルク辺境伯領
- ② アーエルベ川以東    イーキエフ公国
- ③ アーライン川以西    イーブランデンブルク辺境伯領
- ④ アーライン川以西    イーキエフ公国

問 3 下線部③に関連して、ヨーロッパの君主について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① フィリップ2世が、カペー朝を創始した。
- ② エリザベス1世が、審査法を制定した。
- ③ クローヴィスは、ヴァンダル人を統一した。
- ④ カルロス1世は、神聖ローマ皇帝に選出された。

## 世界史B

B ドレスデンは、17世紀から18世紀前半に④ポーランド王を兼ねたザクセン選帝侯フリードリヒ＝アウグスト1世(強王)の下で、ザクセン選帝侯国の⑤首都として大きく発展した。この時期に、町の中心部にはツヴィンガー宮殿が建てられ、巨大な石のドームで知られる聖母教会の建設も始まった。しかしドレスデンは、⑥第二次世界大戦中に連合国の爆撃によって大きな被害を受けた。空爆時に崩壊した聖母教会は、戦争による破壊への警鐘として<sup>はいきよ</sup>廃墟のまま保存されていたが、東西ドイツ統一後に全世界から寄付を募って再建され、現在は「平和のための学びの場」と位置づけられている(下図参照)。



聖母教会の祭壇。十字架は、ドイツ軍の空爆を受けたイギリスの都市コヴェントリーから和解の象徴として贈られたもの。

問 4 下線部④に関連して、東欧や北欧の歴史について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① ハンガリー王国は、チェック人によって建てられた。
- ② バルト3国は、カルマル同盟を結んだ。
- ③ ポーランドは、ハノーヴァー朝断絶後に、選挙王制(選挙王政)をとった。
- ④ デンマークは、プロイセンに、シュレスヴィヒを奪われた。

問 5 下線部⑤について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① クテシフォンは、アケメネス朝の首都とされた。
- ② コルドバは、サーマーン朝の首都とされた。
- ③ アステカ王国は、テノチティトランを首都とした。
- ④ アッシリアは、テーベを首都とした。

問 6 下線部⑥の時期の出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① フランスで、ブルムが、ヴィシー政権を率いた。
- ② アメリカ合衆国は、ソ連に、武器貸与法を適用した。
- ③ ドイツ軍は、スターリングラードの戦いで勝利した。
- ④ スペインで、バドリオ政権が無条件降伏した。



## 世界史B

C 中国最大の⑦都市である上海の外灘(バンド)に立ち並ぶ重厚な西欧風建築は、往時の繁栄を今に伝えている。上海の歴史は、中国において商業活動が活発化した⑧宋代に遡り、江南の経済の隆盛とともに、交易拠点として発展してきた。19世紀以降、⑨海外との貿易の中心地となった上海は更なる発展を遂げた。黄浦江をはさんで外灘と相対する浦東地区に林立する超高層ビル群は、上海が今も中国経済を牽引する都市であることを示している。

問7 下線部⑦について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 

25
----

- ① 景德鎮は、陶磁器の代表的な生産地であった。
- ② リューベックは、ロンバルディア同盟の盟主であった。
- ③ モンバサは、アフリカ東岸の海港都市(港市)として繁栄した。
- ④ ポンディシェリは、フランス東インド会社の拠点であった。

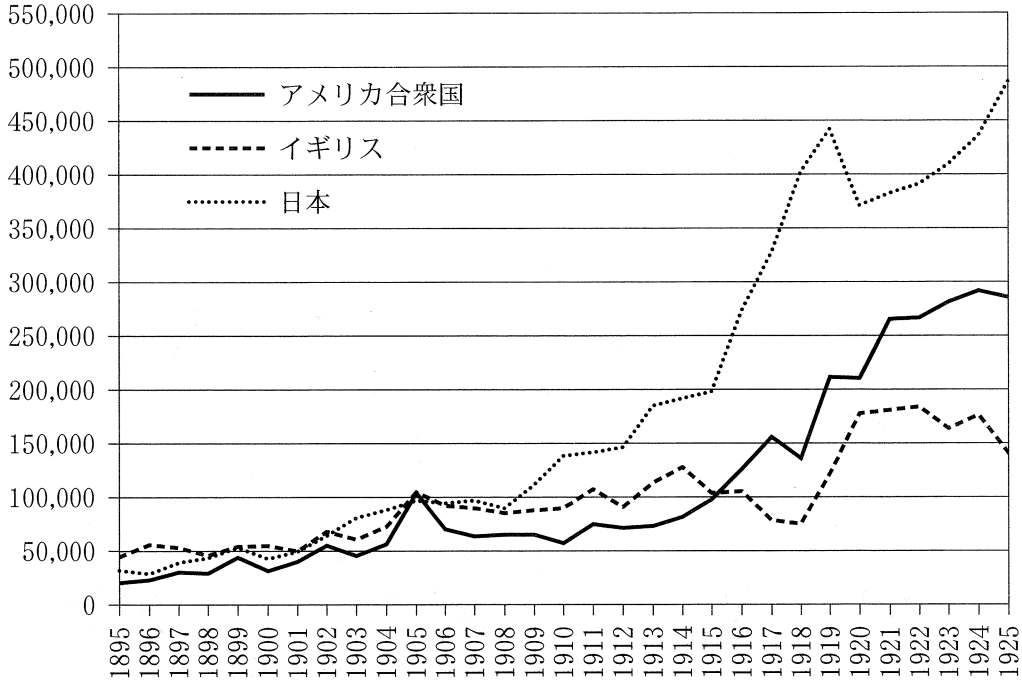
問8 下線部⑧に関連して、宋代の新法について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 

26
----

- ① 司馬光が推進した。
- ② 地主や大商人の利益を抑えようとした。
- ③ 西遼に対する防備の強化を目指した。
- ④ 東林派と非東林派との党争を招いた。

問 9 下線部⑨に関連して、次のグラフは、1895年から1925年までの、中国とイギリス・日本・アメリカ合衆国の各国との間の年間貿易総額を示したものである。このグラフから読み取れる内容について述べた下の文 **a** と **b** の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 27

単位：1,000 海関両



(Hsiao Liang-lin (ed.), *China's Foreign Trade Statistics, 1864-1949* より作成)

- a** 第一次世界大戦中に、アメリカ合衆国との間の年間貿易総額が、イギリスとの間の年間貿易総額を上回った。
- b** 五・四運動が発生した年の日本との間の年間貿易総額は、義和団事件が始まった年の日本との間の年間貿易総額の5倍以下に留まっている。

- ① a — 正      b — 正
- ② a — 正      b — 誤
- ③ a — 誤      b — 正
- ④ a — 誤      b — 誤

## 世界史B

第4問 人の移動と戦争との関わりについて述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(配点 25)

A 15世紀以降のロシアでは、農奴制を逃れた人々が、①南方の辺境に移り住み、狩猟や漁業、牧畜などを生業とした。彼ら移住者が中心となって、自治的な戦士集団が形成されていく。この地へのロシア帝国の支配が強化されると、彼らは自分たちの自由を守るためにしばしば抵抗した。例えば1773年、プガチョフがロシア皇帝を僭称し、②反乱を起こしている(下図参照)。反乱軍は圧政からの解放を期待したバシキール人やロシア人農民を味方に引き入れ、一時は大勢力になったものの、2年後、③エカチェリーナ2世により鎮圧された。



捕虜を裁判にかけるプガチョフ(V. ペローフ「プガチョフの裁判」)

問 1 下線部①に関連して、人の移動とその影響について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 28

a アメリカ大陸に進出したスペイン人は、植民地にエンコミエンダ制を導入した。

b ヨーロッパ人が持ち込んだ天然痘(伝染病)は、アメリカ大陸の先住民人口が激減する一因となった。

- ① a — 正      b — 正
- ② a — 正      b — 誤
- ③ a — 誤      b — 正
- ④ a — 誤      b — 誤

問 2 下線部②について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① ベトナムで、西山(タイソン)の乱が起こった。
- ② 漢で、陳勝・呉広の乱が起こった。
- ③ イギリスで、ジャックリーの乱が起こった。
- ④ インドで、ハイドゥ(カイドゥ)の乱が起こった。

問 3 下線部③の事績について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① リシュリユーを宰相とした。
- ② 十四か条の平和原則を主張した。
- ③ クリミア半島を獲得した。
- ④ インド皇帝に即位した。

## 世界史B

B 最初の総力戦となった第一次世界大戦を契機に、④「難民の時代」が始まった。帝国の崩壊や、革命と内戦によって、世界的・国際的問題として難民の存在が浮上し始めたのである。⑤両大戦間期(第一次世界大戦終結から第二次世界大戦開始までの時期)に政治体制の大幅な変動や社会の混乱を経験したヨーロッパでは、多くの人々がそれまで生活していた場所から移り住むことを余儀なくされた。激しい内戦が展開された⑥スペインでは、戦争中から、子どもたちをはじめとする国外への大量の避難民が見られた。スペインを逃れた人々の多くが故国に戻ったのは、1970年代になってからのことである。

問 4 下線部④に関連して、次の年表に示した a ~ d の時期のうち、大量の難民が発生したルワンダ内戦の時期として正しいものを、下の①~④のうちから一つ選べ。

31

a
1951年 国連難民高等弁務官事務所の発足
b
1976年 国際人権規約の発効
c
2003年 リベリア内戦の停戦
d

① a

② b

③ c

④ d

問 5 下線部⑤の時期に起こった出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① ブレジネフが、ソ連共産党第一書記に就任した。
- ② イギリスで、フェビアン協会が結成された。
- ③ モンゴル人民共和国が成立した。
- ④ 極東国際軍事裁判が開かれた。

問 6 下線部⑥の歴史について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① 東ゴート王国の支配下に置かれた。
- ② イスラーム勢力に対して、レコンキスタが行われた。
- ③ ユトレヒト条約で、ジブラルタルを獲得した。
- ④ 人民戦線政府が、スペイン内戦に勝利した。

## 世界史B

C 両大戦間期，多数の学者や文化人が故国を離れ，⑦亡命した。音楽家の両親の元で育ったヘルムート＝シュテルンもその一人である。家族とともにたどりついたのは満州（満洲）であった。そしてシュテルンは，日本人指揮者の朝比奈隆が当時客演していたハルビン交響楽団で，音楽家としての第一歩を踏み出した。11年間に⑧中国で過ごした彼は，イスラエルへの移住を経て，旧国籍を再取得することになる。⑨1961年，シュテルンはベルリン＝フィルハーモニー管弦楽団に入団し，第1ヴァイオリンの首席奏者として活躍した。ユダヤ人であったことで苦難の人生を歩まねばならなかった一音楽家は，長い旅の末，生まれ故郷のベルリンに帰りついたのである。

問 7 下線部⑦について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 

34
----

- ① ダライ＝ラマ 14 世が，アメリカ合衆国に亡命した。
- ② ジェームズ 2 世が，バラ戦争によって亡命した。
- ③ アインシュタインが，ナチ党の支配から逃れて亡命した。
- ④ 中国から亡命した衛満が，渤海を建てた。

問 8 下線部⑧に関連して，20 世紀前半の中国の歴史について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 

35
----

- ① 袁世凱が，中華民国の臨時大総統に就任した。
- ② 浙江財閥が，中国共産党と結んだ。
- ③ 山東で，鉄道国有化に反対する暴動が起こった。
- ④ 北京で，中華民国の成立が宣言された。

問 9 下線部⑨に関連して、冷戦期の出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 

36
----

- ① ブルガリアで、ドブチェクが、自由化を推進した。
- ② 東ドイツが、アデナウアーの下で、主権を回復した。
- ③ ソ連が、バグダード条約機構(中東条約機構)に参加した。
- ④ ニュージーランドが、太平洋安全保障条約(ANZUS)に参加した。